

る人がいるとした上で、「ためらわず避難することが重要だ」と訴えた。非常用持ち出し袋にマスクや消毒薬を入れておくことも提案した。

黒潮町の生徒は、学校が地域と連携して実施している避難訓練を紹介。「災害弱者」とされる高齢者らに参加してもらい、自宅の寝室や居間から玄関までの間に円滑な避難を妨げる障害物がないか確認していることなどを説明した。

朝日高1年鈴村宙巧そらえさん(16)は「学んだ取り組みをSNS(会員制交流サイト)で同世代に発信したい」と話した。

交流会は2017年に開始。コロナ禍で昨年からビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」で行っている。

(梶山瑞弓)

防災テーマに意見交換

AMDA 交流会 岡山や高知の中高生

南海トラフ巨大地震一高めてもらおうと、国に備えて防災意識を

際医療ボランティア

AMDA(岡山市北区伊福町)は24日、中高生によるオンライン交流会を開き、岡山、広島県の生徒7人と発生時に最大34%の津波の到来が予測されている高知県黒潮町の生徒14人が意見を交わした。

岡山・広島の生徒は、新型コロナウイルス禍の避難について取り上げた。感染拡大を不安に思っ避難所に足を運ぶのをちゅうちよす

オンラインで意見を交わす

生徒 岡山市北区伊福町

